



VOL.46

「桂川っ子」の文字は、
桂川中学校美術部員が
デザインしたものです。

勉強も頑張ってる桂川っ子

桂川町教育委員会

教育長 穂坂 和義

新聞等で報道されていますのでご存知のことと思いますが、昨年9月に実施した平成23年度の全国学力調査と福岡県学力調査の結果が11月に発表されました。

全国学力調査は、小・中学校とも国語と算数(数学)、福岡県学力調査は、社会と理科、これに中学校は英語が加わります。対象学年は両調査とも例年通り小学校は6年生、中学校は3年生です。

全国学力調査は、一昨年度から悉皆から抽出方式に変わったことや東日本大震災の影響などもあって、全国的に参加にバラつきがありました。したがって、本年度は都道府県別の学力実態や全国平均値などは出ていません。

ただし、福岡県は全国学力調査に全小・中学校が参加していますので、福岡県学力調査の結果と合わせた国語・算数(数学)・社会・理科・英語の調査結果が例年どお

り福岡県教育委員会から出されました。

この結果を見ると、県内各地区(政令指定2都市、福岡・北九州・筑豊・京築・北筑後・南筑後地区)の中で、今回も筑豊は他の地区より低い結果に終わっています。

ただし、県平均との差が小学校でマイナス5.5、中学校でマイナス7.3まで縮まってきました。

肝心の桂川町の子どもたちの学力実態ですが、県平均との差が小学校でマイナス1.6(一部教科で県平均を上回る)、中学校でマイナス3.7まで縮めることができました。小・中学校とも筑豊地区11市町村の中でこれまで中位だったのが今回は上位になりました。

桂川っ子は勉強も頑張っています。福岡都市圏にも近い桂川町は、学校教育の充実が町の発展の重要なカギの一つと言われています。今後とも、いろいろな施策を実施していきたいと考えていますのでご支援をよろしく願います。

お手本は6年生

桂川東小学校 校長 諫山 秀代

学校の機関車は6年生です。学校全体を向上させるためのリーダーであることを、常に求められるのです。

桂川東小学校の6年生は、この役目をきちんと果たしてくれています。その姿をご紹介します。

①運動会

応援団長・係活動・行進鼓笛など自分たちの競技の練習もこなしながら、中心となり三週間で運動会を成功させました。



限られた時間の中で作り上げるには、体力も気力も必要です。リーダーとして、ぐんと成長し、お手本になりました。

②桂東文化祭

児童会主催の文化祭。自分たち6年生は「王塚太鼓」の稽古に励みながら、会全体の計画・運営にあたりました。それぞれの学年の頑張りを、可愛らしさを、見に来てくださったお家の方・地域の方々喜んでいただける進行ができました。

また、「王塚太鼓」の発表は体にずんと響き、下級生が「すごかった!」「かっこよかったです!」と思わず感嘆の声を発するほどでした。



③学習

「学校は勉強するところ」が桂川東小学校の合言葉です。

学校での授業をはじめとする学習はもちろんのこと、家庭学習も60分(学年×10分)頑張っています。特に6年生は「一日一時間、集中して」と決め、宿題以外にも多くの勉強をしています。この頑張りは、他の学年に分かりにくいことですが、リーダーとして、自慢したいことです。

卒業まであと40日程。中学校でもこの頑張りを継続し、桂川東小学校の後輩のお手本になってくれることと期待しています。